

研究テーマ	生活や社会との関わりを深める技術・家庭科教育
生活や社会との関わりを深める手立て	幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び道具、遊び方について既習した内容を生かし、製作する遊び道具がよりよい作品に仕上がるようにレポートにまとめ、発表する。

## 第3学年4組 技術・家庭科（家庭分野）指導案

指導者 ○○ ○○

## 1 題材名 応援します！幼児の生活

## 2 題材の目標

- 幼児の生活と家族について関心をもって学習活動に取り組み、家族又は幼児の生活をよりよくするために実践しようとしている。（生活や技術への関心・意欲・態度）
- 幼児の生活と家族について課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。（生活を工夫し創造する能力）
- 幼児の生活と家族に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。（生活の技能）
- 幼児の生活と家族について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。（生活や技術についての知識・理解）

## 3 題材について

## (1) 題材観

中学校学習指導要領解説技術・家庭編において、「A(3)幼児の生活と家族」では、遊び道具の製作や幼児と触れ合う活動などの実践的・体験的な学習活動を通して、幼児に関心を持ち、幼児の心身の発達と生活、それを支える家族の役割や遊びの意義について理解し、幼児とのかかわり方を工夫できるようにすることをねらいとしている。

現在、生徒が自分の生い立ちを振り返ることや乳幼児と触れ合うこと、自分の成長や生活が家族やそれにかかわる名々に支えられていることに気付くことが難しいケースもある。これは、少子化や地域とのかかわりの希薄化など、家庭の様々な様子や複雑な環境から難しくなりつつあると思われる。そこで、この題材では、まず、自分の成長に触れ、幼児の心身の発達と特徴について理解し、幼児の遊び道具であるおもちゃの製作や乳幼児との触れ合い体験を通して、幼児への関心を高めたい。次に、疑似体験の場を設定し、親や幼児とかわる家族の立場になって子どものことを考えさせ、自分の成長や生活が家族やそれにかかわる名々に支えられてきたことに気付かせる。さらに、これらの学習活動を通して、これからの生活を展望して、課題をもって家庭生活をよりよくしようとする能力と態度を育てたい。

## (2) 生徒の実態

幼児の生活に関するアンケート（男子14名 女子18名 計32名）

質問項目	回答
① 家庭分野のどの内容に興味がありますか。（複数回答）	食生活 28名 衣生活 10名 住生活 11名 消費生活 6名 家族と家庭生活 16名
② これから乳幼児と触れ合うのは楽しみですか。	とても楽しみ 13名 楽しみ 16名 楽しみではない 3名
③ 幼児の遊び道具の製作は楽しみですか。	とても楽しみ 12名 楽しみ 17名 楽しみではない 3名
④ 乳幼児と触れ合った経験はありますか。	ある 28名 ない 4名
⑤ あなたは生まれたころの様子や名前の由来について家族に聞いたことがありますか。	ある 24名 ない 8名（うち3名はこれから聞いてみたい）
⑥ あなたは家族に支えられて育ってきたと感じますか。	よく感じる 18名 感じる 12名 感じない 2名
⑦ 心のこもった手づくりの遊び道具を幼児に渡すとしたら、幼児にどのようなことを感じてほしいですか。（複数回答）	喜んで欲しい 18名 遊んで欲しい 19名 大切にしたい 14名 感謝して欲しい 3名

アンケートの結果より、本学級の生徒は、家族と家庭生活の内容に半数が興味を持っている。その中でも、自分の生い立ちや、乳幼児との触れ合い、乳幼児の発達などについて関心が高い。また、乳幼児と触れ合うことや遊び道具の製作について、それぞれ90%以上が楽しみと答えている。このことから学習への期待と意欲が高いことが分かる。しかし、「家族に支えられて育ってきた」と感じない生徒が若干名いることから、自分の存在価値について考えさせたい。

## (3) 指導観

前時までに、幼児にとっての遊びの意義を理解し、幼児の遊び道具の製作計画を立てた。本時は、幼児にとっての遊びは生活そのものであることを確認し、幼児の心身の発達を踏まえたうえで班で話し合う場を設定し、様々な意見を交流させることで幼児が興味をもって楽しく遊べるものとしたい。また、安全への配慮を十分認識させ、製作に入りたい。

## 4 学習計画（14時間扱い）

次	時	学習内容	関・意・態	工・創	技能	知・理
1	1	幼いころや成長を振り返る。	◎			

2	2・3	幼児の心身の発達と生活を考える。(心身の発達の特徴, 家族の役割, 生活習慣)				◎
3	4～9 (本時は第5時)	幼児の生活と遊びを知る。(遊びの意義, 育つ力, 遊び道具や場所, 遊び道具の製作)	○	◎		○
4	10～13	幼児と触れ合う。(幼稚園または保育所訪問)	○	○	◎	
5	14	子どもにとっての家族を考える。		○		

5 本時の指導

(1) 目 標

幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び道具, 遊び方についての考えを生かし, 製作しようとしている。

(2) 準備・資料

遊び道具の製作資料, 安全カード, ワークシート, 基礎縫い資料, 裁ちばさみ, 糸切りばさみ

(3) 展開 (・留意点 ◎生活や社会との関わりを深める手立て   評価)

学習内容・活動	指導上の留意点・評価								
<p>1 これまでの学習内容を振り返る。</p> <p>2 本時の学習課題を知る。  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">幼児が喜ぶおもちゃづくりをしよう②                      ～安全で楽しく遊べるようにするために～</span></p> <p>3 計画をもとに改善点を話し合う。                      ・対象年齢           ・形                      ・大きさ             ・デザイン                      ・色</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">1班 つなげる 電車</td> <td style="width: 25%;">3班 魚釣り</td> <td style="width: 25%;">5班 サイコロ</td> <td style="width: 25%;">7班 ままごと 等</td> </tr> <tr> <td>2班 ぬいぐる み等</td> <td>4班 人形等</td> <td>6班 ままごと 等</td> <td>8班 布絵本 お菓子屋</td> </tr> </table> <p>4 製作に入る。                      (1) 印を付ける。                      ・チャコペンシル           ・型紙                      (2) 断つ。                      ・裁ちばさみ                      (3) 縫う。                      ・玉結び, 玉どめ           ・なみ縫い                      ・かがり縫い                ・返し縫い                      ・ブランケットステッチ</p> <p>5 本時のまとめ  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">安全で楽しく遊べるようにするためには, 発達段階に応じた工夫と安全への配慮が大切である。</span>                      (1) 自己評価を行う。                      (2) 次時の確認を行う。</p>	1班 つなげる 電車	3班 魚釣り	5班 サイコロ	7班 ままごと 等	2班 ぬいぐる み等	4班 人形等	6班 ままごと 等	8班 布絵本 お菓子屋	<p>・幼児は, 年齢によって発達段階が違い, 遊び方にも違いがあることを確認する。</p> <p>・本時は, 幼児のおもちゃが安全で楽しいものにするためには, どのようなことに配慮したらよいか考えさせたい。製作の流れを確認する。</p> <p>◎オリジナルの作品を製作する中で, 話し合いや学び合いがしやすいように, 似た製作品同士の生徒を同じグループにする。</p> <p>◎対象年齢, 形, 大きさ, デザイン, 色のポイントを班でチェックし, 改善点があれば訂正して製作に入るようにする。特に, 形や大きさは危険性を伴うこともあるので, 注意するように呼びかける。</p> <p>◎幼児が受け取ったときに「喜んで欲しい」「遊んで欲しい」「大切にしたい」「感謝して欲しい」などの思いが, それぞれの生徒にあるため, それらの思いを達成するための構成や工夫についてまとめさせる。</p> <p>・幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び道具, 遊び方について考えがイメージできるように, 参考となる資料を提示し, 課題が解決できるようにする。</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び道具, 遊び方についての考えを生かして製作している。 (工夫・創造: ワークシート, 作品)</span></p> <p>・安全に配慮するために, 安全カードを提示し, 針や刃物の扱い方を意識できるようにする。</p> <p>既習内容である, 印の付け方, 布の裁ち方, 縫い方については, 簡単に確認をする。</p> <p>・印を付ける際は, できるだけ無駄がないよう, 大きいものから小さいものの順で型を取るように伝える。また余りについては, 綿を詰める際に一緒にするので, 捨てずに班でまとめさせる。</p> <p>・「受け取ったときに嬉しい」「楽しく遊びたい」と思われるように, 思いを込めて丁寧に製作するように伝える。</p>
1班 つなげる 電車	3班 魚釣り	5班 サイコロ	7班 ままごと 等						
2班 ぬいぐる み等	4班 人形等	6班 ままごと 等	8班 布絵本 お菓子屋						